

## 研究ノート

# 新美南吉の童話「手袋を買ひに」の中国語版 《小狐狸买手套》について

——日本語原文と中国語訳の比較——

三 野 豊 浩

### 提 要

新美南吉は代表日本の児童文学者、彼の童話《小狐狸买手套》は其代表作之一。这篇故事不但在日本国内家喻户晓，还有汉语的翻译。本稿把日语的原文和汉语的译文详细地比较，加之，把汉语的译文再一次翻成日语，通过这些作业来考察翻译外语时发生的各种问题。看来，彭懿、周龙梅两位的译文又正确又易懂，作为一篇汉语教材很有价值。我希望学习汉语的学生们看看本稿，把它做为学习语法时的参考资料。

关键词：新美南吉、《小狐狸买手套》、童话、儿童文学、翻译、汉语语法、补语

### はじめに

新美南吉（1913～1943）は、愛知県半田市出身の日本の童話作家である。その童話「手袋を買ひに」は1933年（昭和八年）に執筆され<sup>1)</sup>、彼の代表作の一つに数えられる。この有名な物語は小学生の教科書に教材として採録されている他、子供向けの絵本としても数多く出版されている<sup>2)</sup>。その中でも特に偕成社から出版されている絵本『手ぶくろを買ひに』（1988年3月初版。以下「偕成社の絵本」と記す）は、黒井健氏のすばらしい挿絵によって出色の出来映えとなっている<sup>3)</sup>。日本ではつとに多くの人に親しまれているこの童話は、彭懿・周龍梅（簡体字では周龙梅）の両氏によって中国語にも翻訳され、《小狐狸



《小狐狸买手套》表紙

买手套》<sup>4)</sup>として出版されている（南海出版公司，2010年2月）。同書は偕成社の絵本と同じ黒井氏の挿絵を用いており（図版参照），当然ながら，同社から版權を得た上でその日本語を翻訳したものである<sup>5)</sup>。本稿は日本語の原文と中国語の訳文を比較検討し，翻訳の問題や中国語文法の問題について考えることを主な課題とする。

## 一 作者および作品の紹介

童話の本文を紹介する前に，中国語版に掲載されている「关于作者（作者について）」の部分を引用し，日本語に翻訳することにしたい。まず，作者の新美南吉の紹介である。

**新美南吉** 1913年出生于日本爱知县，毕业于东京外国语学校英语系。从小热爱文学，中学时代就开始创作童话、童谣、诗歌等。1943年去世，年仅30岁。在短暂的生涯中，新美南吉创作了很多广受喜爱的作品，并有多篇入选日本小学教材，主要作品有《小狐狸买手套》《狐狸阿权》《去年的树》《爷爷的煤油灯》。新美南吉的作品，故事曲折有致，既充满趣味，又充满温情。故事的主角经常是动物，其中狐狸出现的次数最多，其俏皮可爱的形象令人印象深刻。

**新美南吉** 1913年，日本の愛知県に生まれ，東京外国語学校英語学科を卒業。小さい頃から文学をこよなく愛し，中学生の時にはやくも童話，童謡，詩歌などの創作をはじめ。1943年に世を去り，わずか30歳であった。短い生涯の間に，新美南吉はたくさんの方の広く受け入れられ喜ばれる作品を創作したのみならず，多くの作品が日本の小学校の教材に選ばれている。主な作品に「手ぶくろを買いに」「ごんぎつね」「去年の木」「おじいさんのランプ」がある。新美南吉の作品はストーリーが曲折に富んでいて面白く，情趣にあふれている上に，温かさに満ちている。物語の主役はしばしば動物であり，中でもキツネが登場する回数が最も多く，そのいたずらで愛らしい姿は人に強い印象を与える。

次に，挿絵を担当した黒井健氏の紹介である。

**黒井健** 1947年出生于日本新潟县，毕业于新潟大学教育系美术专业，1973年开始从事自由插画师这一职业。1983年获得第9届SUNRIO美术奖。曾为多部经典童话作品配图，主要绘本作品有《小狐狸买手套》《狐狸阿权》《猫儿事务所》等。

**黒井健** 1947年，日本の新潟県に生まれ，新潟大学教育学部美術専攻を卒業し，1973年にフリーの挿絵画家として活動をはじめ。1983年に第9回サンリオ美術賞を

受賞。これまでに多くの古典的な童話作品の挿絵を手がけ、主な絵本作品に『手ぶくろを買ひに』『ごんぎつね』『猫の事務所』などがある。

次に、やはり中国語版に掲載されている作品の紹介を引用し、翻訳する。

寒冷的冬天来了，狐狸妈妈为了不让小狐狸的手被冻伤，决定去镇上帮他买一副手套。可是快到镇上时，狐狸妈妈却想起了差点被人抓走的可怕经历，不敢再往前走了，只好让小狐狸自己去镇上。狐狸妈妈把小狐狸的一只手变成人手的样子，并反复叮嘱他一定要伸这只手出去。可是小狐狸来到商店门口时，却因为紧张伸错了手……本书是日本著名童话作家新美南吉最打动人心的故事，在日本家喻户晓，并被选入小学语文课本。这篇童话曾先后由多位不同的插画家配图，出版成绘本，但唯有黑井健绘图的这本，牢牢把握住了狐狸母子间的温情，小狐狸的天真可爱和雪国梦幻般的美丽场景。

寒い冬がやって来て、キツネの母親は小ギツネの手を凍傷にさせないために、町に行って彼のために一組の手袋を買ってあげてことを決意する。しかしもうすぐ町に着くという時に、キツネの母親はあやうく人間につかまりそうになった恐ろしい経験を思い出し、それ以上前に進むことができなくなり、小ギツネを自分で町に行かせるしかなくなる。キツネの母親は小ギツネの一方の手を人間の手の姿に変え、その上で彼に必ずこの手を伸ばして出すように何度も言い聞かせる。しかし小ギツネは店の入り口にやって来た時、緊張のあまり手を出し間違えてしまい……本書は日本の著名な童話作家である新美南吉の最も感動的な物語であり、日本では誰もが知っていて、しかも小学校の国語の教科書にも選録されている。この童話はこれまで前後して多くの異なる挿絵画家によって挿絵が描かれ、絵本として出版されて来たが、ただ黒井建氏が挿絵を描いたこの本だけが、キツネの母子の間の温かい愛情、小ギツネの天真爛漫な可愛らしさと雪国の夢のように美しい情景をしっかりと把握している。

以上の内容については、おおむね問題はないように思われる。

## 二 童話原文とその中国語訳および中国語訳の日本語訳

以下、「手袋を買ひに」の新美南吉の原文、彭・周両氏による中国語訳、筆者による中国語訳の日本語訳を順に掲載する。ただし原文は偕成社の絵本のものでなく、愛知大学図書館所蔵の『校定新美南吉全集』第二巻「童話・小説Ⅱ」（大日本図書、1980年6月初版。以下『全集』と記す）所収の「手袋を買ひに」を底本とした。新美南吉は戦前の作家であるか

ら、表記は当然旧字体旧仮名遣いである。本稿は基本的に『全集』の原文を尊重しつつも、縦書きを横書きに改め、漢字表記は旧字体を新字体に改めた。仮名遣いは旧仮名遣いのままとした。原文にあるルビは一律に削除した。読みにくいと考えられる場合は、読み方を〔 〕に入れて記した。

彭・周両氏による中国語訳は、原文を忠実に掲載した。筆者による中国語訳の日本語訳は、最初は原文をなるべく念頭に置かず、中国語訳を正確に日本語に移すことを心がけた。その後で原文と比較し、表現を少しばかり調整した。

新美南吉の原文は『全集』では6ページ分(262~267頁)であるが、偕成社の絵本では合計15の挿絵と共に15の場面に分けられている(全30ページ。中国語版も同じ)。本稿は、便宜的にこれを五部に分けて紹介する。改行および区切り方は偕成社の絵本に従う。本文の長さはページにより長短がある。なお本稿の執筆にあたっては、中国語の初級を学んでいる学生たちを主な読者として念頭においた。そのため【語句】では、特に補語を重視した。それでは、新美南吉の物語の世界に入って行こう。

## 第一部

【概要】キツネの母子が住んでいる森に冬が訪れる。はじめて雪を見る子供のキツネは驚き、興奮する。雪原を走り回った子供のキツネは、手が冷たいと母親に訴える。母親のキツネは、子供のために手袋を買ってやろうと思いつく。

□ 絵本1, 2ページ。第一の場面。挿絵は洞穴の中にいる母子のキツネ。

### 【原文】

寒い冬が北方から、狐の親子の棲んでゐる森へもやつて来ました。

或朝〔あるあさ〕洞穴から子供の狐が出ようとしてましたが、

「あつ。」と叫んで眼を抑へながら母さん狐のところへころげて来ました。

「母ちゃん、眼に何か刺さつた、ぬいて頂戴〔ちょうだい〕早く早く。」と言ひました。

母さん狐がびつくりして、あはてふためきながら、眼を抑へてゐる子供の手を恐る恐るとりのけて見ましたが、何も刺さつてはゐませんでした。<sup>6)</sup>

### 【原文の中国語訳】

寒冷的冬天从北方来到了狐狸母子居住的森林。

一天早上,小狐狸刚要爬出洞,突然“啊”地叫了一声,捂着眼睛滚回到狐狸妈妈身边。

“妈妈,什么东西扎到我眼睛里了,快给我拔出来啊,快点快点!”小狐狸说。

狐狸妈妈吃了一惊，连忙小心地扒开小狐狸捂着眼睛的手，一看，什么也没有。

【語句】「来到了」やって来た。「爬出」はい出る。「捂着眼睛」目を押さえて。「滚回到」ころがって帰って来る。「什么东西」何か。「扎到」ささって来る。「拔出来」抜いて取り出す。「吃了一惊」びっくりする。「连忙」あわてて。「小心地」注意深く。「扒开」どかす。

【中国語訳の日本語訳】

寒い冬が、北の方からキツネの母子が住んでいる森にやって来た。

ある日の朝、小ギツネが洞穴からはい出ようとしたばかりの時、突然「あっ」と一声叫んで、目を押さえてキツネの母〔かあ〕さんの近くどころがるように戻って来た。

「母さん、何かが僕の目にささったよ。はやく抜いてくださいな、早く早く！」と小ギツネは言った。

キツネの母さんはびっくりして、あわてて小ギツネが目を押さえている手を注意深くどけたが、見てみると、何もなかった。

□ 絵本3，4ページ。第二の場面。挿絵は洞穴の中から外の雪原の様子をながめる母子のキツネ。

【原文】

母さん狐は洞穴の入り口から外へ出て始めてわけが解〔わか〕りました。昨夜のうちに、真白な雪がどつさり降つたのです。その雪の上からお陽さまがキラキラと照してゐたので、雪は眩〔まぶ〕しいほど反射してゐたのです。雪を知らなかつた子供の狐は、あまり強い反射をうけたので、眼に何か刺さつたと思つたのでした。

【原文の中国語訳】

狐狸妈妈跑出洞，这才明白是怎么一回事。原来，昨天晚上下了一场厚厚的雪，白雪被明晃晃的太阳一照，反射出耀眼的光。小狐狸从没见过雪，被雪地上的强光一晃，还以为是什么东西扎进眼睛里了。

【語句】「跑出」走って出る。「明晃晃的太阳」キラキラと輝く太陽。「反射出」反射して（光を）放つ。「从没见过雪」これまでまだ雪を見たことがない。小ギツネは生まれたばかりで、冬を経験するのははじめてなのであろう。「一晃」ひとたび照らす。「以为」（間違つて）思う。思い込む。「扎进」ささって入る。

【中国語訳の日本語訳】

キツネの母さんは洞穴から駆け出てみて、やっとどういうことなのかわかった。はたして、昨晚分厚い雪が降り、白い雪がキラキラと輝く太陽の光に照らされて、目にまぶしい光を反射しているのだった。小ギツネはこれまで雪を見たことがなく、雪の積もった地面の上

の強い光に照らされて、何かが目（の中）にささったと思ったのだった。

□ 絵本 5, 6 ページ。第三の場面。挿絵は雪原を走り回る子供のキツネ。

【原文】

子供の狐は遊びに行きました。真綿のやうに柔〔やわら〕かい雪の上を駆け廻ると、雪の粉が、しぶきのやうに飛び散つて小さい虹がすつと映るのです。

すると突然、うしろで、  
「どたどた、ざーつ」と物凄い音がして、パン粉のやうな粉雪が、ふわ一つと子狐におつかぶさつて来ました。子狐はびつくりして、雪の中のところがるやうにして十米も向かふへ逃げました。何だらうと思つてふり返つて見ましたが何もみませんでした。それは縦〔もみ〕の枝から雪がなだれ落ちたのでした。まだ枝と枝の間から白い絹糸のやうに雪がこぼれてゐました。

【原文の中国語訳】

小狐狸跑出去玩了。他在丝绵一般柔软的雪地上奔跑，雪末纷纷扬扬地飘落下来，映出一道小小的彩虹。

这时，身后突然响起了一阵可怕的声音。

“扑啦啦，哗——”

粉末状的细雪，忽地一下朝小狐狸头上罩了下来。小狐狸吓了一大跳，没命地逃，在雪地里足足滚出十多米远。是什么呢？他回头望去，可是什么也没有。原来是冷杉树上的雪掉了下来。枝头上的雪还在往下落，像一条条白丝线。

【語句】「跑出去」走って出て行く。次の「玩了」とあわせて連動文になっている。「奔跑」奔走する。走り回る。「纷纷扬扬地」ふわふわひらひらと。「飘落下来」ひるがえって落ちて来る。「映出」映し出す。「一道」ひとすじの。「响起」響き渡る。「可怕」恐ろしい。「扑啦啦，哗——」雪の落ちる音の擬音。「忽地」急に，突然。「罩了下来」覆いかぶさって落ちて来る。「吓了一大跳」びっくり仰天する。「没命地逃」命からがら逃げる。「足足」一定の程度に十分達していることを表す。「滚出」ころがり出る。「回头」ふりかえる。「望去」眺めやる。「冷杉树」モミの木。「掉了下来」落ちて来た。「还在往下落」まだ下に向かって落ちている。

【中国語訳の日本語訳】

小ギツネは駆け出して行って遊んだ。彼は真綿のように柔らかい雪の地面の上を走り回り、雪の粉はふわふわひらひらと落ちて来て、ひとすじの小さな虹を映し出していた。

この時、身体の後ろで突然恐ろしい物音が響き渡った。

「ブアア、ドド——」

粉末状の細かい雪が、急に小ギツネの頭の上へ覆いかぶさって来た。小ギツネはびっくり仰天して、命からがら逃げ、雪の地面の中で十メートル余りも遠くどころがり出た。これは何だろう？ 彼はふり返って眺めて見たが、何もなかった。なんと、モミの木の上の雪が落ちて来たのだった。枝の上の雪はまだ下に落ち続けており、ひとすじひとすじの白い糸のようだった。

□ 絵本7，8 ページ。第四の場面。挿絵は再び洞穴の中の母子のキツネ。

### 【原文】

間もなく洞穴へ帰つて来た子狐は、  
「お母ちゃん、お手々が冷たい、お手々がちんちんする。」と言つて、濡れて牡丹色になつた両手を母さん狐の前にさしだしました。母さん狐は、その手に、は——つと息をふつけて、ぬくとい母さんの手でやんわり包んでやりながら、  
「もうすぐ暖〔あたたか〕くなるよ、雪をさわると、すぐ暖くなるもんだよ。」と云ひましたが、かあいい坊やの手に霜焼ができてはかわいさうだから、夜になつたら、町まで行つて、坊やのお手々にあふやうな毛糸の手袋を買つてやらうと思ひました。

### 【原文の中国語訳】

不一会儿，小狐狸回到洞里，对狐狸妈妈说：  
“妈妈，手好冷！手冻得邦邦硬！”  
说着，小狐狸把两只冻得红扑扑的小湿手，伸到了狐狸妈妈面前。  
狐狸妈妈一边呼呼地朝小狐狸的小手上哈气，一边用自己温暖的大手把小狐狸的手包了起来，说：  
“马上就暖和了！摸过雪的手，马上就会暖和过来的。”  
狐狸妈妈想，要是儿子可爱的小手给冻伤了，那可不得了，等到天黑，去镇上给儿子买一副合适的毛线手套吧！

【語句】「不一会儿」ほどなく。「回到」帰り着く。「冻得邦邦硬」凍ってカチカチに硬くなっている。「说着」言いながら。「冻得红扑扑」凍って真っ赤にはれている。「伸到」伸ばして出す。「一边…一边…」…しながら…する。「呼呼地」フーフーと。「朝」～に向かって。「哈气」息をはきかける。「包了起来」包みはじめた。「摸过」さわったことがある。「暖和过来」あたたかくなって来る。「等到天黑」空が暗くなるのを待つて。「去镇上…买…手套」連動文。町に行って手袋を買う。



【中国語訳の日本語訳】

ほどなく、小ギツネは洞穴に帰り、キツネの母さんに言った。

「母さん、手がとっても冷たいよ。手が凍ってカチカチに硬くなってるよ。」

言いながら、小ギツネは凍って真っ赤にはれた二つの小さな濡れた手を、キツネの母さんの顔の前に差し出した。

キツネの母さんはフーフーと小ギツネの小さな手に向かって息を吐きかけながら、自分の温かな大きな手で小ギツネの手を包んで、こう言った。

「すぐに暖かくなるよ。雪をさわった（ことのある）手は、すぐに暖かくなって来るものだよ。」

キツネの母さんは思った。もし息子のかわいい小さな手が凍傷になったら（それは）いけない。空が暗くなるのを待って、町に行って息子のためにちょうどいい（一組の）毛糸の手袋を買ってあげよう！

## 第二部

【概要】夜になり、母子のキツネは手袋を買うために町に向かう。しかし、母親のキツネは以前町でひどい目にあったことを思い出し、足が進まなくなる。仕方なく、子供のキツネを単独で町に行かせることにする。母親のキツネは子供のキツネの片方の手を人間の子供の手に変える。そしてお金をわたし、手袋の買い方を念入りに説明する。

□ 絵本 9, 10ページ。第五の場面。挿絵は夜の雪原を歩く母子のキツネ。子供のキツネは母親のキツネのお腹の下にいる。

【原文】

暗い暗い夜が風呂敷のやうな影をひろげて野原や森を包みにやつて来ましたが、雪はあまり白いので、包んでも包んでも白く浮〔うか〕びあがつてゐました。

親子の銀狐は洞穴から出ました。子供の方はお母さんのお腹の下へはいりこんで、そこからまんまるな眼をばちばちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いて行きました。

【原文の中国語訳】

黑黑的，黑黑的夜，像块包袱皮一样包住了原野和森林，但是雪太白了，所以不管怎么包，都能看见白茫茫的雪地。

银色的狐狸母子从洞里走了出来。小狐狸钻到妈妈的肚皮底下，眨巴着两只圆圆的眼睛，一边走，一边东看看，西看看。



【語句】「黒黒的」真っ暗な。「包袱皮」風呂敷。「包住了」包み込んだ。「看见」見て見える。「走了出来」歩いて出て来た。「钻到」もぐり込む。「眨巴着」まばたきしながら。

【中国語訳の日本語訳】

真っ暗な、真っ暗な夜が、あたかも風呂敷のように野原と森を包み込んだ。しかし雪はあまりに白く、それゆえどのように包んでも、白く茫々とした雪の地面を見ることができた。

銀色のキツネの母は洞穴の中から歩いて出て来た。小ギツネは母さんのお腹の下にもぐり込み、二つのまん丸な目をまばたかせ、歩きながら、東（あっち）を見たり西（こっち）を見たりした。

□ 絵本11, 12ページ。第六の場面。挿絵は夜の雪原と遠くに見える小さな町。

【原文】

やがて、行手にぼつりあかりが一つ見え始めました。それを子供の狐が見つめて、「母ちゃん、お星さまは、あんな低いところにも落ちてるのねえ。」とききました。「あれはお星さまぢやないのよ。」と言つて、その時母さん狐の足はすくんでしまひました。「あれは町の灯〔ひ〕なんだよ。」

その町の灯を見た時、母さん狐は、ある時町へお友達と出かけて行つて、とんだめにあつたことを思ひました。およしなさいつて云ふのもきかないで、お友達の狐が、或る家の家鴨〔あひる〕を盗まうとしたので、お百姓に見つかつて、さんざ追ひまかれて、命からがら逃げたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行かうよ。」と子供の狐がお腹の下から言ふのですが、母さん狐はどうしても足がすゝまないのでした。そこで、しかたがないので、坊やだけを一人で町まで行かせることになりました。

【原文の中国語訳】

走了没多久，前方出现了一点亮光。看到亮光，小狐狸问：

“妈妈，星星怎么掉到了那么低的地方？”

“那可不是星星啊。”说到这里，狐狸妈妈的腿都发软了，“那是镇子里的灯光。”

一看到镇子里的灯光，狐狸妈妈就想起上次跟朋友一起去镇子时险些送命的事。她劝朋友不要去偷人家的鸭子，可朋友不听，非要去偷，结果被人发现，追得它们使劲地跑，好不容易才捡回一条命。

“妈妈，你在干什么呀？快走啊！”小狐狸在妈妈的肚皮底下问道。

可是狐狸妈妈却怎么也迈不动步子了，没办法，只好让小狐狸自己去镇上。

【語句】「走了没多久」いくらも歩かないうちに。「前方／出现了／一点亮光」は存現文。前

方に一つの明るい光が現れた。「看到」「掉到」「说到」いずれも結果補語。「到」はある所までたどり着くことを表す。「腿都发软了」足がすっかり萎えてしまった。「镇子」小さな町。新美南吉がモデルとしたであろう半田は比較的小さな町なので、「镇子」という表現が似つかわしい。「想起」思い起こす。「险些送命」危うく命を落とす。「非要去偷」は「非要去偷不可」に同じ。どうしても盗みに行かなくてはならない。「去偷」は連動文。盗みに行く。「被人发现」人に見つかる。「追得它们使劲地跑」彼らを追いかけて全力で走らせる。「好不容易」やっとのことで。「捡回一条命」一命をとりとめる。「在干什么呀？」何をしているのか。「问道」たずねて言う。「迈不动步子了」足が進まなくなってしまった。「没办法」しかたがない。「只好」～するしかない。「让小狐狸自己去镇上」は使役。小ギツネを自分で町に行かせる。

【中国語訳の日本語訳】

いくら歩かないうちに、前方に一つの明るい光が現れた。明るい光を目にして、小ギツネはたずねて言った。

「母さん、星はどうしてあんなに低い所に落ちてしまったの？」

「あれは星ではないんだよ。」ここまで言って、ギツネの母さんの足はすっかり萎えてしまった。「あれは町の明かりだよ。」

町の明かりを目にして、ギツネの母さんは前回友だちと一緒に町に行った時に、危うく命を落とす所だったことを思い出した。彼女は（ギツネの）友だちに人の家のアヒルを盗みに行ったりしないようにと勧めたのだが、友だちは言うことを聞かず、どうしても盗みに行きたいと言い、その結果人間に見つかり、追いかけて力を使い果たし、やっとのことで命拾いしたのだった。

「母さん、何をしているの？ はやく行こうよ！」小ギツネは母さんのお腹の下からたずねて言った。

でもギツネの母さんはどうしても足が前に進まなくなり、仕方なく、小ギツネを自分で町に行かせることにした。

□ 絵本13, 14ページ。第七の場面。挿絵は向かい合う母子のギツネ。母親のギツネは子供のギツネの手をにぎっている。表紙と同じ絵である（「はじめに」参照）。

【原文】

「坊やお手々を片方お出し」とお母さん狐が云ひました。その手を、母さん狐はしばらく握つてゐる間に、可愛い人間の子供の手にしてしまひました。坊やの狐はその手をひろげたり握つたり、爪〔つね〕つて見たり、嗅〔か〕いで見たりしました。

「何だか変だな母ちゃん、これなあに？」と言つて、雪あかりに、又その、人間の手に変へられてしまつた自分の手をしげしげと見つめました。

「それは人間の手よ。いいかい坊や、町へ行つたらね、たくさん人間の家があるからね、まづ表に円〔まる〕いシャツポの看板のかゝつてゐる家を探すんだよ。それが見つかつたらね、トントンと戸を叩いて、今晚はつて言ふんだよ。さうするとね、中から人間が、すこうし戸をあけるからね、その戸の隙間〔すきま〕から、こつちの手、ほらこの人間の手をさし入れてね、この手にちやうどいい手袋頂戴つて言ふんだよ、わかつたね、決して、こつちのお手々を出しちや駄目よ。」と母さん狐は言ひきかせました。

「どうして？」と坊やの狐はききかへしました。

「人間はね、相手が狐だと解〔わか〕ると、手袋を売つてくれないんだよ、それどころか、糞〔つか〕まへて檻の中へ入れちやふんだよ、人間つてほんとに恐いものなんだよ。」

「ふーん。」

「決して、こつちの手を出しちやいけないよ、こつちの方、ほら人間の手の方をさしたすんだよ。」と言つて、母さんの狐は、持つて来た二つの白銅貨を、人間の手の方へ握らせてやりました。

【原文の中国語訳】

“儿子，伸出一只手来。”狐狸妈妈说。

狐狸妈妈握住小狐狸的那只小手，不一会儿，就把它变成了一只小孩的手。好可爱啊，小狐狸一会儿张开，一会儿握紧，一会儿捏捏，一会儿咬咬。

“妈妈，好奇怪啊！这是什么呀？”小狐狸边说边借着雪地上的光，盯住自己那只小孩的手，看了又看。

“这是人的手啊。你听好，儿子，到了镇上，会有许许多多的人家，你要去找外面挂着礼帽招牌的那家。找到了，你就去咚咚地敲敲门，然后说一声‘晚上好’。那样，里面的人就会把门打开一条缝，你就从门缝把这只手，对，就是这只人的手伸出去，说：‘请卖给我一副这只手戴着正合适的手套吧。’听明白了吗？千万别把另外一只手伸出去啊！”狐狸妈妈叮嘱小狐狸。

“为什么呢？”小狐狸问道。

“因为人要是知道你是狐狸的话，不但不卖给你手套，还会把你抓住，关进笼子里。人是很可怕的东西啊。”

“嗯。”

“可千万别把那只手伸出去啊！这只手，对，要伸出这只人的手！”说完，狐狸妈妈把带来的两枚白铜币，塞到了小狐狸的那只人手里。

【語句】「伸出一只手来」一つの手を伸ばして出す。「伸出来」に「一只手」が組み合わさっ

たもの。「只」は量詞。「握住」しっかり握る。「张开」開いてあける。「握紧」ぎゅっと握る。「捏捏」「咬咬」いずれも動詞の重ね型。「盯住」じっと見つめる。「听好」しっかり聞く。「去找」さがしに行く。「挂着」かかっている。「礼帽」シルクハット。原文の「シヤツポ」はフランス語の chapeau に由来する。「招牌」看板。「找到」さがしあてる。「敲敲」動詞の重ね型。軽くたたく。「晚上好」こんばんは。「打开」(ドアを)あける。「一条缝」ひとすじの隙間。「伸出去」伸ばして出す。「卖给」売って与える。「听明白」聞いてはっきりわかる。「千万别」決して～してはいけない。「叮嘱」何度も言い聞かせる。「问道」たずねて言う。「抓住」しっかりつかまえる。「关进」閉じ込めて入れる。「笼子」檻。「可怕的东西」こわいもの。恐ろしいもの。「说完」話し終わる。「带来」(身につけて)持って来る。「塞到」押し込む。詰め込む。

#### 【中国語訳の日本語訳】

「息子や、片方の手を出しなさい。」キツネの母さんが言った。

キツネの母さんは小ギツネのその小さな手を握りしめ、ほどなく、それを一つの子供の手に変えてしまった。何とかかわいいことか、小ギツネはしばらくの間開き、しばらくの間握り、しばらくの間つまみ、しばらくの間かんでみた。

「母さん、何て奇妙なんだろう！ これは何だい？」小ギツネは言いながら雪の地面の上の光を借りて、自分のその子供の手をじっと見つめ、見てはまた見た。

「これは人間の手だよ。よくお聞き、息子よ。町に着いたら、きっとたくさんの人間の家があるだろう。お前は行って、外にシルクハットの看板がかかっているその家をさがさなければならぬ。さがし当てたら、お前は行ってトントンとドアをたたき、それから一言「今晚は」と言うのだよ。そうすれば、中の人間はドアをひとすじの隙間に開けるはずだ。そうしたらお前はドアの隙間からこの手を、そうだ、この人間の手を伸ばして、「僕にこの手をつけるのにちょうどいい(一組の)手袋を売ってください」と言うのだ。(聞いて)わかったかい？ 決してもう一つの手を伸ばしてはいけないよ！」キツネの母さんは小ギツネに何度も言い聞かせた。

「どうして？」小ギツネはたずねた。

「なぜなら人間はもしもお前がキツネだと知ったら、お前に手袋を売ってくれないだけでなく、(その上)お前をつかまえて、檻の中に閉じ込めてしまうかも知れない。人間はとてこわいものなんだよ。」

「うん。」

「本当に、決してそっちの手を伸ばしてはいけないよ！ こっちの手、そう、この人間の手を伸ばすんだよ！」言い終わると、キツネの母さんは持って来た二枚の白銅貨を、小ギツネの人間の手の中に押し込んだ。

### 第三部

【概要】子供のキツネは単独で町に向かい、帽子屋をさがしあてる。人間の子供になりすまし手袋を買おうとするが、あわてて人間の手ではなくキツネの手の方を出してしまう。しかし帽子屋はお金が本物であることを確認すると、子供のキツネに手袋を売ってくれる。

□ 絵本15, 16ページ。第八の場面。挿絵は夜の雪原を町へ向かって歩いて行く子供のキツネ。

#### 【原文】

子供の狐は、町の灯〔ひ〕を目あてに、雪あかりの野原をよちよちやつて行きました。始めのうちの一つきりだった灯が二つになり三つになり、はては十にもふえました。狐の子供はそれを見て、灯には、星と同じやうに、赤いのや黄〔き〕いのや青いのがあるんだなと思ひました。<sup>7)</sup>

#### 【原文の中国語訳】

小狐狸在雪光闪闪的原野上，摇摇晃晃地朝镇上的灯光走去。开始的时候，只有一盏灯，不一会儿，多了一盏，又多了一盏……最后，出现了十几盏。望着灯光，小狐狸想，原来灯也和星星一样，有红的，黄的和蓝的啊。

【語句】「摇摇晃晃地」ゆらゆら，ふらふらと。「走去」歩いて行く。「一盏灯」一つの明かり。「盞」は量詞。「望着」眺めながら。「和星星一样」星と同じように。

#### 【中国語訳の日本語訳】

小ギツネは雪の光がキラキラしている原野の上を，ふらふらと町の明かりに向かって歩いて行った。最初は，たった一つの明かりしかなかったが，ほどなくして，一つ増え，また一つ増え……しまいには，十余りの明かりが現れた。明かりを眺めながら，小ギツネは思った。そうか，明かりも星と同じように，赤いのがあるし，黄色や青色のもあるんだな，と。

□ 絵本17, 18ページ。第九の場面。挿絵は夜の町の通りを歩く子供のキツネ。

#### 【原文】

やがて町にはいりましたが通りの家々はもうみんな戸を閉めてしまつて，高い窓から暖かさうな光が，道の雪の上に落ちてゐるばかりでした。

けれど表の看板の上には大い小さな電灯がともつてゐましたので，狐の子は，それを見ながら，帽子屋を探して行きました。自転車の看板や，眼鏡の看板やその他いろんな看板

が、あるものは、新しいペンキで画かれ、或るものは、古い壁のやうにはげてゐましたが、町に始め出て来た子狐にはそれらのものがいつたい何であるか分からないのでした。

【原文の中国語訳】

很快，小狐狸就到了镇上。街道两旁，家家户户都已经关了门，高高的窗户里透出温暖的灯光，洒在路面的积雪上。

每家门外的招牌上都亮着一盏小灯，小狐狸一块块看过去，找帽子店。自行车的招牌，眼镜的招牌，还有各种各样的招牌。有的招牌是新涂的油漆，有的招牌像旧墙壁一样，已经开始脱漆了。可是第一次到镇上来小狐狸，不知道这些东西到底是做什么用的。

【語句】「很快」はやくも。「透出」透けて出る。漏れ出る。「每家門外の招牌上／都亮着／一盏小灯」は存現文。「看过去」見て通り過ぎる。「新涂の油漆」新しく塗ったペンキ。「脱漆」ペンキがはげる。「到底」結局のところ。とどのつまり。

【中国語訳の日本語訳】

はやくも、小ギツネは町に着いた。町の通りの両側では、どの家もどの家もみなすでにドアを閉め、高い窓の中から温かい灯光が漏れ出て、路面の積雪の上に降り注いでいた。

それぞれの家の門の外の看板の上には、どれも一つの小さな明かりがともっていて、小ギツネは（それらを）一つ一つ見ながら通り過ぎ、帽子屋をさがした。自転車の看板、眼鏡の看板、またその他のいろいろな看板があった。ある看板は新しく塗ったばかりのペンキで、ある看板は古い壁と同じように、すでにペンキがはげはじめていた。しかしはじめて町にやって来た小ギツネは、これらのものが結局のところ何の役に立つのかわからなかった。

□ 絵本19, 20ページ。第十の場面。挿絵は帽子屋の入り口から片手を差し込んでいる子供のギツネ。

【原文】

たうとう帽子屋がみつかりました。お母さんが道々よく教へてくれた、黒い大きなシルクハットの帽子の看板が、青い電灯に照らされてかかつてゐました。

子狐は教へられた通り、トントンと戸を叩きました。

「今晚は。」

すると、中では何かことごと音がしてゐましたがやがて、戸が一寸ほどゴロリとあいて、光の帯が道の白い雪の上に長く伸びました。

子狐はその光がまばゆかつたので、めんくらつて、まちがった方の手を、——お母さまが出しちやいけなうと言つてよく聞かせた方の手をすきまからさしこんでしまひました。

【原文の中国語訳】

终于找到帽子店了。妈妈在路上仔细给他讲过的那个黑色大礼帽的招牌，就挂在那里，被蓝色的灯光笼罩着。

小狐狸照妈妈教的那样，咚咚地敲了敲门。

“晚上好！”

里面传来了啪嗒啪嗒的声音，门轻轻地开了一条一寸左右的缝儿，一道长长的光投在了路面的白雪上。因为那道光太刺眼，小狐狸不禁慌了神，错把另外一只手——妈妈反复告诉过他千万不能伸出去的那只手，从门缝里伸了进去。

【語句】「终于」ついに。とうとう。「找到」さがしあてる。「笼罩着」包まれている。「咚咚地」トントンと。ノックの擬音。「敲了敲门」動詞の重ね型。軽くドアをたたいた。「里面／传来了／啪嗒啪嗒的声音」は存現文。「啪嗒啪嗒」パタパタ。足音の擬音。「刺眼」目に刺さる。まぶしい。「不禁慌了神」思わずあわててしまつて。「错」間違えて。「伸出去」伸ばして出す。「伸了进去」伸ばして（中に）差し込んだ。

【中国語訳の日本語訳】

（小ギツネは）とうとう帽子屋をさがし当てた。母さんが途中で彼に詳しく説明したあの黒い大きなシルクハットの看板が、そこにかかっている、青い明かりに包まれていた。

小ギツネは母さんが教えた通りに、トントンと軽くドアをたたいた。

「こんばんは！」

中からパタパタという音が伝わって来て、ドアが軽く一寸前後の隙間に開き、ひとすじの長い光が路面の白い雪の上に投げかけられた。その光はあまりにまぶしいので、小ギツネは思わずあわててしまい、間違ってもう一方の手を——母さんが繰り返し彼に決して伸ばしてはいけないと言いつけたその手を、ドアの隙間から中に差し込んでしまった。

□ 絵本21，22ページ。第十一の場面。挿絵は帽子屋の中の情景。帽子屋の主人はお金が本物かどうか確かめている。

【原文】

「このお手々にちやうどいい手袋下さい。」

すると帽子屋さんは、おやおやと思ひました。狐の手です。狐の手が手袋をくれと言ふのです。これはきつと木の葉で買ひに来たんだなと思ひました。そこで、「先にお金を下さい。」と言ひました。子狐はすなほに、握つて来た白銅貨を二つ帽子屋さんに渡しました。帽子屋さんはそれを人差指のさきにつけて、カチ合せて見ると、チンチンとよい音がしましたので、これは木の葉ぢやない、ほんとお金だと思ひましたので、棚が



ら子供用の毛糸の手袋をとり出して来て子狐の手に持たせてやりました。子狐は、お礼を言つて又、もと来た道を帰り始めました。

【原文の中国語訳】

“请卖给我一副这只手戴着正合适的手套！”

帽子店老板愣了一下：哎呀，这是一只狐狸的手！狐狸说要买手套，该不会是用树叶当钱来买吧？于是他说：

“请先付钱。”

小狐狸把一直握着的两枚白铜币，乖乖地递给了帽子店老板。帽子店老板把两枚铜币捏在手上，对撞了一下，听到“丁冬”一声。他知道不是树叶，是真的钱，就从货架上取下了一副小孩子戴的毛线手套，塞到小狐狸手里。小狐狸说了声“谢谢”，就顺着原路往回走。

【語句】「请卖给我」どうか私に売ってください。「老板」主人。「愣了一下」あきれてしまった。啞然とした。「哎呀」何とまあ。驚きを表す。「该不会是…吧？」まさか～ではあるまいな？「树叶」木の葉。「付钱」お金を払う。「一直」ずっと。「乖乖地」おとなしく。すなおに。「递给了」渡した。「捏」手でつまむ。「对撞」ぶつける。「听到」聞き届ける。「丁冬」チリン。チャリン。コインがぶつかる音の擬音。「货架」品物を置いてある棚。「取下」取っておろす。「顺着原路」もと来た道をたどって。「往回走」帰る方向に向かって歩く。

【中国語訳の日本語訳】

「僕にこの手につけるのにちょうどいい（一組の）手袋を売ってください！」

帽子屋の主人はあきれてしまった。何と、これはキツネの手だ！キツネが手袋を買いたいと言っている。まさか木の葉をお金にして買うんじゃないだろうな？そこで彼は言った。

「先にお金を払って下さい。」

小ギツネはずっと握っていた二枚の白銅貨を、おとなしく帽子屋の主人にわたした。帽子屋の主人は二枚の銅貨を手でつまみ、ちょっとぶつけてみると、「チリン」という音を聞いた。彼は木の葉ではなく、本当のお金だとわかると、品物を置いてある棚の上から子供がつける（一組の）毛糸の手袋を取って来て、小ギツネの手の中に押し込んだ。小ギツネは一言「ありがとう」と言うと、もと来た道をたどって帰って行った。

## 第四部

【概要】手袋を買う目的を果たした子供のキツネは、母親のキツネのもとへ向かう。途中、人間の母親が歌う子守歌を聞き、急に母親が恋しくなる。子供のキツネの帰りを待ちわびていた母親のキツネは、子供のキツネが無事に帰って来たので泣きたいほど喜ぶ。

□ 絵本23, 24ページ。第十二の場面。挿絵は手袋を口にくわえて夜の町を歩く子供のキツネ。

【原文】

「お母さんは、人間は恐ろしいものだつて仰有〔おっしゃ〕つたがちつとも恐ろしくないや。だつて僕の手を見てもどうもしなかつたもの。」と思ひました。けれど子狐はいつたい人間なんてどんなものが見たいと思ひました。

ある窓の下を通りかかると、人間の声かしてゐました。何と云ふやさしい、何と云ふ美しい、何と言ふおつとりした声なんぞでせう。

「ねむれ ねむれ

母の胸に、

ねむれ ねむれ

母の手に——」

子狐はその唄声は、きつと人間のお母さんの声にちがひないと思ひました。だつて、子狐が眠る時にも、やつぱり母さん狐は、あんなやさしい声でゆすぶつてくれるからです。

【原文の中国語訳】

小狐狸一边走，一边想：

“妈妈说人是很可怕的东西，可是一点都不可怕呀！人看到了我的手，不是也没把我怎么样吗？”

不过，小狐狸很想看看人到底是什么样子的。

当他从一户人家的窗户下边走过时，里头传出了人的说话声，好温暖、好柔和、好好听的声音啊！

“睡吧，睡吧，

躺在妈妈的怀抱里，

睡吧，睡吧，

枕在妈妈的胳膊上……”

小狐狸想，这歌声一定是人类妈妈的声音了。因为小狐狸睡觉时，狐狸妈妈也是一边摇着他，一边哼着这样温柔的歌。

【語句】「看到了」見届けた。「没把我怎么样」私をどうにもしなかつた。「走过」歩いて通り過ぎる。「传出了」伝わつて来た。「好听的声音」聞いて心地よい声。「睡吧」眠りなさい。以下の歌詞は、オーストリアの作曲家 Franz Schubert (フランツ・シューベルト 1797～

1828) の「Wiegenlied (子守歌)」冒頭部分。「躺」身を横たえる。「胳膊」腕。「哼着」口ずさんでいる。

【中国語訳の日本語訳】

小ギツネは歩きながら思った。

「母さんは、人間はこわいものだよと言ったけれど、でもちっともこわくないよ。人間は僕の手を見て、僕をどうにもしなかったじゃないか？」

でも、小ギツネは人間はとどのつまりどんな様子なのか、(とても) 見てみたいと思った。

彼がとある人家の窓の下を通り過ぎた時、中から人間の話す声が伝わって来た。何とあたたかく、何とやわらかく、何と美しい声だろうか！

「眠りなさい、眠りなさい、  
お母さんのふところの中に身を横たえて、  
眠りなさい、眠りなさい、  
お母さんの腕を枕にして……」

小ギツネは思った。この歌声はきっと人間のお母さんの声に違いない。なぜなら小ギツネが眠る時、ギツネの母さんも彼を揺さぶりながら、このような温かくやさしい歌を口ずさんでくれるからだ。

□ 絵本25, 26ページ。第十三の場面。挿絵は窓の下にたたずんで中の会話を聞いている子供のギツネ。

【原文】

するとこんどは、子供の声がしました。

「母ちゃん、こんな寒い夜は、森の子狐は寒い寒いって啼 [な] いてるでせうね。」

すると母さんの声が、

「森の子狐もお母さん狐のお唄をきいて、洞穴の中で眠らうとしてゐるでせうね。さあ坊やも早くねんねしなさい。森の子狐と坊やとどつちが早くねんねするか、きつと坊やの方が早くねんねしますよ。」

【原文の中国語訳】

这时，小狐狸听到了一个小孩的声音：

“妈妈，这么冷的晚上，森林里的小狐狸也会叫‘好冷、好冷’吧？”

妈妈的声音说：

“森林里的小狐狸这时候也躺在洞里，听着狐狸妈妈唱的歌，就要睡觉了。来，宝宝也快点儿睡吧，看看森林里的小狐狸和宝宝谁先睡觉。一定是宝宝先睡觉吧！”

【語句】「这时」この時。「听到」聞き届ける。「小孩」子供。「这么」こんなに。「听着」聞きながら。「来」さあ。「宝宝」坊や。子供への呼びかけ。「快点儿」はやく。

【中国語訳の日本語訳】

この時、小ギツネは一人の子供の声を聞いた。

「母さん、こんなに寒い夜、森の中の小ギツネもきっと『寒いよ、寒いよ』と鳴いているんでしょう？」

(人間の)母親の声があった。

「森の中の小ギツネはこんな時も洞穴の中に横になって、ギツネの母さんがうたう歌を聴きながら(もうすぐ)眠ろうとしているのよ。さあ、坊やもはやくおやすみなさい。森の中の小ギツネと坊やとどちらが先に眠るか見てみましょう。きっと坊やが先に眠るでしょうね！」

□ 絵本27, 28ページ。第十四の場面。挿絵は夜の雪原で再会した母子のギツネ。

【原文】

それをきくと子狐は急にお母さんが恋しくなつて、お母さん狐の待つてゐる方へ跳んで行きました。

お母さん狐は、心配しながら、坊やの狐の帰つて来るのを、今か今かとふるへながら待つてゐましたので、坊やが来ると、暖い胸に抱きしめて泣きたいほどよろこびました。

【原文の中国語訳】

听到这里，小狐狸忽然想妈妈了，就飞快地朝妈妈等着的地方跑去。

狐狸妈妈担心死了，正焦急地盼着小狐狸快点回来呢！看到小狐狸回来了，她高兴极了，真想温柔地把小狐狸抱在怀里大哭一场。

【語句】「听到这里」ここまで聞いて。「忽然」急に。突然。「飞快地」飛ぶようにはやく。「跑去」走って行く。「担心死了」ひどく心配する。「焦急地」はらはらして。「回来」帰って来る。「看到」見届ける。「高兴极了」この上なくうれしい。「大哭一场」ひとしきり大泣きする。

【中国語訳の日本語訳】

ここまで聞いて、小ギツネは急に母さんが恋しくなり、飛ぶようにはやく母さんが待つてゐる所へ向かって走って行った。

ギツネの母さんはひどく心配し、(ちょうど)はらはらしながら小ギツネがはやく帰って来ることを待ち望んでいる所だった。小ギツネが帰って来たのを見て、彼女はこの上なくう

れしく思い、あたたかく小ギツネをふところに抱いて、ひとしきり大泣きしたいと（本当に）思った。

## 第五部

【概要】母子のキツネは一緒にねぐらの洞穴へ向かう。子供のキツネは自分の失敗を母親のキツネに話し、人間は少しもこわくないと主張する。母親のキツネはそれを聞いて驚き、本当にそうだろうかと自問する。

□ 絵本29, 30ページ。第十五の場面。挿絵は夜の雪原を歩いて行く母子のキツネ。

### 【原文】

二匹の狐は森の方へ帰つて行きました。月が出たので、狐の毛なみが銀色に光り、その足あとには、コバルトの影がたまりました。

「母ちゃん、人間つてちつとも恐くないや。」

「どうして？」

「坊、間違へてほんたうのお手々出しちやつたの。でも帽子屋さん、糺〔つか〕まへやしなかつたもの。ちやんとこんない暖い手袋くれたもの。」

と言つて手袋のはまつた両手をパンパンやつて見せました。お母さん狐は、

「まあ！」とあきれましたが、「ほん<sup>ママ</sup>どうに人間はいいものかしら。ほん<sup>ママ</sup>どうに人間はいいものかしら。」とつぶやきました。

### 【原文の中国語訳】

狐狸母子返回了森林。月亮出来了，狐狸的毛闪着银光，他们的身后留下了一串蔚蓝色的脚印。

“妈妈，人一点儿都不可怕呀。”

“你怎么知道？”

“我伸错手了，我把真的手伸出去了。可是帽子店老板也没有抓我呀，还卖给我一双这么暖和的手套。”说着，小狐狸啪啪地拍了拍戴着手套的两只小手。

“看你高兴的！”狐狸妈妈不敢相信地嘀咕道，“人真的有那么好吗？人真的有那么好吗？”

【語句】「返回」戻って行く。「月亮」月。「出来」出て来る。「闪着银光」銀色の光を放っている。「留下」残す。「一串」ひと続きの。「蔚蓝色」濃い藍色。濃紺色。「脚印」足跡。なお「他们的身后／留下了／一串蔚蓝色的脚印」は存現文。「一点儿都不可怕」ちつとも恐ろしくない。「怎么知道？」どうしてわかるのか。「伸错手了」手を伸ばし間違えた。「没有抓我」

私をつかまえなかった。「啪啪地」ポンポンと。手をたたく音の擬音。「拍了拍」軽くたたいた。「戴着手套的」手袋をつけている。「看你高兴的！」お前のうれしそうなこと！「不敢相信地」信じられないという風に。「嘀咕道」。つぶやく。ひとり言を言う。

【中国語訳の日本語訳】

キツネの母子は森に戻って行った。月が出て来て、キツネの毛は銀色の光を放っており、彼らの後にはひと続きの濃紺色の足跡が残された。

「母さん、人間は少しもこわくないよ。」

「お前どうしてわかるんだい？」

「僕は手を伸ばし間違えて、本当の手を伸ばしてしまったんだ。でも帽子屋の主人は僕をつかまえなかったばかりか、僕に（一組の）こんなに温かい手袋を売ってくれたよ。」そう言いながら、小ギツネは手袋を着けている二つの小さな手をポンポンとたたいた。

「お前のうれしそうなこと！」キツネの母さんは信じられないというようにひとり言を言った。「人間には本当にそんなに良い所があるのだろうか？ 人間には本当にそんなに良い所があるのだろうか？」

## 中国語訳の問題点

以上、新美南吉の童話「手袋を買ひに」の全文を検討した。全体的に見て、中国語の翻訳に特に大きな問題はない。彭懿・周龍梅両氏の詳細な経歴は絵本に明記されていないが、この訳を見る限り、相当に日本語能力の高い人たちであることは疑いない。日本語の意味はほぼ完璧に把握されており、中国語を母国語とする読者が物語の内容を理解するためには十分な名訳であると思われる。もし中国語版が訳しきれていないものがあるとすれば、それはやはり、日本語ならでの微妙なニュアンスを含んだ言葉の表現であろうか。たとえば「お手々がちんちんする」「ぬくとい」「やんわり」「ぼつたり」「よちよち」「ことこと」「ゴロリと」「おやおや」など。だが、外国人の訳者にそこまで要求するのは苛酷というものであろう。

ただ気になるのは、最後の「まあ！」の訳し方である。直訳するなら“哎呀！”（まあ！）あるいは“什么？”（何ですって？）などであろう。しかしそれでは中国語を母国語とする読者には説明が足りないと思ったのであろうか。“看你高兴的！”（お前のうれしそうなこと！）という、やや説明的な訳になっている。多少言葉を補えば、“看你这么高兴的样子，我什么也说不出来了！”（お前がこんなにうれしそうな様子を見て、私は何も言えなくなってしまった！）といった感じであろうか。しかし原文の「まあ！」の本来のニュアンスは、やや違うように思われる。母親のキツネは以前追いかけてられてひどい目にあっているのに、

人間に対する警戒心が強い。これに対し子供のキツネは手袋を売ってもらえた喜びにひたっており、人間の善意を信じ切っているかのようである。そんな子供のキツネのあまりの無邪気さ、警戒心のなさに、母親のキツネは心底あきれたのであろう。「まあ！」に込められたそうしたニュアンスは、果たして中国人の訳者に正しく理解されたであろうか<sup>8)</sup>。

もう一つ。小さなことであるが、人間の母親がシューベルトの子守歌をうたう場面。原文は「何と云ふやさしい、何と云ふ美しい、何と言ふおつとりした声なんでせう。」であるが、中国語訳は「好温暖、好柔和、好好听的声音啊！」となっており、あたたかく、やわらかく、美しい、の順になっている。仮説であるが、「おつとりした」もニュアンスがつかみにくい日本語なので、意味が明確な「(聴いて) 美しい」を最後に持って来たのかも知れない。

## おわりに

一年生の後半、初級中国語の授業が終わりに近づくと、たいてい各種の補語がポイントとして登場する。いわく様態補語、いわく方向補語、いわく結果補語。ここで終わるやさしめのテキストもあるが、やや難易度の高いテキストでは、方向補語と結果補語の応用である可能補語までが含まれる。一年生の諸君にとっては、これらの補語の習得が決して容易ではない。しかしこのあたりは初級から中級へと向かう重要な段階であり、より高度な学習に移る上で避けて通れないプロセスである。補語に苦手感のある人は多いであろうが、むしろそのような人にこそ、本稿を読んでもらいたい。一年生の学習が終了した段階で、本稿の中国語がどこまで読めるか、試してみてほしい。こうした誰もが知っている童話の翻訳にも、補語はいくらでも使われていることを知っていただきたいのである。

この作品について言えば、使用されている補語は結果補語（「来到」「说完」など）が圧倒的に多く、次いで方向補語（単純方向補語「「望去」回来」、複合方向補語「拔出来」「伸出去」など）が多い。様態補語（「冻得邦邦硬」など）と可能補語（「迈不动」など）も用いられているが、これらは比較的少ない。この他、進行の「在」、持続の「着」、使役の「让」、受け身の「被」、完了の「了」、経験の「过」、語気助詞の「吧」、各種の量詞（「一只」など）、動詞の重ね型（「敲敲」など）、連動文（「去找」など）といった具合に、一年生で学習する文法が随所に用いられている。また、一年生にはまだ難しいかも知れないが、存在や出現を表す存現文（「前方出现了一点亮光」など）も数ヶ所に見える。本稿が学生諸君の中国語学習のために、いくらかでも参考になれば幸いである。



## 注

- 1) 『全集』268頁の【解題】冒頭に「本文は、南吉の自筆原稿（一九三三年一月二六日）を底本として作成した。末尾に「一九三三・一二・二六よる。」とある。」とある。
- 2) 絵本作品の出版点数は、現在入手可能なものに限っても相当な数に上る。Amazonで「手ぶくろを買ひに」を検索するだけでも、その多さがわかるであろう。本稿の目的とはあまり関係がないので、ここではそれらを列挙することはしない。
- 3) 偕成社の絵本は表記を現代風に改めているものの、原文をほぼ忠実に紹介している。絵本の最後のページに、「この本は、『校本新美南吉全集』（大日本図書刊）所取の「手袋を買ひに」を底本としています。読みやすくするため、旧かなづかいを新かなづかいにあらため、一部改行しましたが、そのほかは原文のままです。」とある。
- 4) タイトルの「小狐狸买手套」は、直訳すれば「小さいキツネが手袋を買う」。もし「小さいキツネが手袋を買ひに行く」ならば、連動文で「小狐狸去买手套」となる。
- 5) 中国語版の奥付には次のように記されている。

著作権合同登记号 图字：30-2008-076

TEBUKURO WO KAINI

Text copyright © 1988 by Nankichi NIIMI

Illustrations copyright © 1988 by Ken KUROI

First published in Japan in 1988 by KAISEI-SHA Publishing Co.,Ltd.

Simplified Chinese translation rights arranged with KAISEI-SHA Publishing Co.,Ltd.

through Japan Foreign-Rights Centre/Bardon-Chinese Media Agency

All Rights Reserved

なお日本語版は縦書きで右開き、中国語版は横書きの簡体字で左開きとなっている。この他、日本語版はすべての見開きにおいて右側に言葉があり、左側に挿絵がある。これに対し中国語版は言葉が右にあるか左にあるかはページにより異なる。また日本語版はすべてのページに番号が記されているが、中国語版では一部のページにしか番号が記されていない。

- 6) 『全集』ではここに改行はなく、「……何も刺さつてはるませんでした。母さん狐は洞穴の入り口から……」とそのまま次につながる。
- 7) 『全集』ではここに改行はなく、「……青いのがあるんだなと思ひました。やがて町にはいりましたが……」とそのまま次につながる。
- 8) 蛇足ながら、人間の善意を信じすぎた小ギツネのその後が心配である。帽子屋のおじさんは別にキツネにやさしかったわけではなく、相手が誰であろうと、お金さえちゃんともらえればよかっただけなのかも知れないのに……。